

平診「9条の会」かべ新聞

2014年9月号

(通算 10号)

発行責任者：舛田和比古

原水爆禁止世界大会報告会

8月21日・平診リハビリ室 30人以上の方が参加



報告する三宅さん・大友さん



三宅翔太郎さんは分科会「碑めぐり」に参加

〈原爆ドームを初めて見ての感想〉

◎写真では感じられない圧倒的存在感を感じました。

◎この原爆ドームは補修工事をして何とか立っている状態だと知った。日本の恒久平和のシンボルとして後世に残していく遺産と感じました。

「はだしのゲン」全10巻

を「平診9条の会」文庫のはじまりとして購入しました。原水爆・戦争の悲惨さを見事に描いた作品です。

外来に置きますので、自由にお読みください。当面、持ち出しは禁止とします。皆さんの本で、多くの方に読んで欲しい作品をお持ち寄り下さい。

平診9条の会文庫



9月13日あしべつ健康まつり

平診9条の会の企画として「あさがお展」を出展します。

展示できる状態で、前日12日までに提出して下さい。

昨年12月からの「かべ新聞」も展示します。





沖縄・辺野古新基地建設は許さない！

安倍政権が強行する沖縄県名護市辺野古での米軍新基地建設に向けた海上作業に反対し、中止を求める抗議集会が8月23日、米軍キャンプ・シュワブのゲート前で開かれ、県民の怒りで埋め尽くされました。7月以来に本格化した現地の抗議行動で最大規模となる3600人(主催者発表)が参加しました。(しんぶん赤旗より)



防衛省沖縄防衛局は8月13日、沖縄県名護市辺野古への米軍新基地建設強行へ向け、米軍キャンプ・シュワブ沿岸の海上に、住民の海上抗議行動

を排除するため工事水域への立ち入り禁止範囲を明示する浮標(ブイ)や浮具(フロート)を設置する作業を開始しました。新基地建設に反対する住民らは激しく抗議しました。

戦争か、平和か。ふたたび、日本が岐路に立つなかで69周年の終戦記念日

ことしの終戦記念日は、戦争か平和かの重大な歴史的岐路のなかで迎えました。安倍政権が強行した集団的自衛権行使容認の「閣議決定」は、「憲法9条のもとでは海外での武力行使は許されない」という従来の憲法解釈を百八十度転換し、日本を「海外で戦争する国」に変えるものです。安倍首相は、国会での野党の追及に、アメリカが戦争に乗り出したさいに、自衛隊が「戦闘地域」まで行って軍事支援をおこなうこと、さらに相手から攻撃された場合に「武器の使用はする」として、武力行使をおこなうことを認めました。アメリカの戦争のために、日本の若者の血を流す——これこそ安倍政権がやろうとしているこ

首相、「加害」「不戦」再び削除、「靖国」に玉串料奉納

都内の日本武道館で開かれた政府主催の全国戦没者追悼式の式辞では、歴代首相が表明してきたアジア諸国への「加害」の反省や「不戦の誓い」を昨年に続き表明せず、歴史逆行の姿勢を改めて強く示しました。

首相は今年の式辞で、2007年に自ら述べた「アジア諸国の人々に多大の

との正体です。「閣議決定」は、日本に対する武力攻撃がなくても、「日本の存立が脅かされ、国民の権利が根底から覆される明白な危険がある場合」には、集団的自衛権の行使ができるとしています。この点について、安倍首相は、「石油の供給不足」や「日米関係に重大な影響」がある場合でも武力の行使がありうると答弁し、時の政権の判断で海外での武力行使が無限定に広がることが明らかとなりました。かつて日本軍国主義が、「帝国の存立」「自存自衛」の名で侵略戦争を進めた過ちを、ふたたび繰り返すことは許されません。

お知らせ

11月1日(土)午後1時～3時 芦別市総合福祉センターふれあいホール
平診9条の会主催「集団的自衛権と憲法」学習講演会

損害と苦痛を与え、深い反省と追悼の意を表する」という表現を用いず、歴代首相が使っていた「不戦の誓い」を削除し、厳しい批判を受けました。さらに昨年末には現役首相として靖国神社参拝を強行し、アジアだけでなく全世界から厳しい批判を受けました。また、安倍首相のあいさつの内容が今年のコピーのように同じだと、ネットの話題をさらっています。被爆者を冒とくする行為だと批判が広がっています。